

卒業生メッセージ

本校で学び、そして社会に飛び立ちがんばっている先輩たちがいます。
実際に社会でがんばっている先輩たちの経験からくる言葉は何より大きな道しるべとなるでしょう。
もしかしたら、あなたの近くにも本校の先輩がいるかもしれませんね。

大学病院勤務
A・Tさん

“歯科衛生士”になってよかった



私が歯科衛生士になろうと思ったきっかけは、高校の先生から「歯科衛生士に向いている」と助言していただいたことでした。はじめは歯科衛生士という職業をよく知りませんでしたが、当校で歯科衛生士の役割について毎日楽しくワクワク学ぶことができました。

卒後、一般歯科を経験したあと大学病院に勤務しました。近年、口腔と全身の関連性が注目されており、医科と歯科が連携して患者さんを診察し早期回復に努めています。歯科衛生士のニーズがますます高まるなかで、さらに貢献したいと考え、専門領域の認定資格を取得するだけでなく、現在九州大学社会人大学院へ進学して研究を行っています。まだまだ歯科衛生士としてやりたい事がたくさんあります。患者さんの健康をしっかりサポートできるように、これからも楽しみながら学んでいきます。

好きな仕事ができる幸せ

一般歯科医院勤務
T・Nさん



「『歯科衛生士』という職業があるんだけど専門学校に行ってみないか。」小学校から矯正治療をしてくださった大学病院の先生からの言葉がきっかけとなり、これまで経験してきた歯科治療に対する痛みや悩みが役に立てばとこの仕事を選び数十年。患者さんから「痛くなくなった。」「美味しく食事ができるようになった。」「ありがとう。」と目と目を合わせて言うていただく度に自分自身も喜びや元気をもらっていることを実感しています。フリーランスになってたくさんの方々と出会い、好きな仕事ができることに感謝する日々。ある日、娘が「ママがず〜っとお仕事できるように歯医者さんの先生になる！」と嬉しいことを言ってくれました。

歯科衛生士の魅力

一般歯科医院勤務
A・Mさん



本校を卒業し、10数年が経ちました。歯科医院で長年勤務し続けることができたのは、歯科衛生士はとてもやりがいがあり、魅力的な職業であるからだと思います。小さなお子さんから高齢の方まで幅広い世代の方々のお口の健康を守るといって、とても責任感のある仕事でもあります。学生時代は長時間の講義や長期間に渡る実習が大変で、心折れそうになることもありました。日々の診療の中で、本校で得た知識や技術が患者さんのお役に立ち、喜んで頂けた時は、歯科衛生士になってよかったと感じます。また、歯科予防処置による口腔保健の向上に対する社会的なニーズが高まっている現代において、口腔健康管理のスペシャリストである歯科衛生士の存在が欠かせません。これからも患者さんに寄り添い、生涯お口の健康を守るための的確な保健指導やアドバイスが出来るよう、日々勉強を重ね、成長していきたいと思っています。

憧れだった歯科衛生士

一般歯科医院勤務
S・Yさん



私は小さい頃から歯医者に行くことが好きで、器具や機械に触ってみたいと思ったのがきっかけで歯科衛生士を目指しました。

歯科衛生士になって3年が経ちます。最初は患者さんとコミュニケーションを取るのが難しく、失敗することや出来ないことが多くて落ち込むこともありましたが、今は、まだまだ未熟ではありますが日々の診療でのアシストやメンテナンスなどもようやく慣れてきました。

患者さんのお口の状態が良くなったり、色々なお話を聞かせてもらったり「気持ちよかった、またあなたにお願いしたいです。」と言葉をかけていただくたびにとてもやりがいを感じます。お口の健康と身体の健康は、関連していると言われていて、そのため、患者さんにお口の大切さを理解していただけるように伝えていくことや、お口の中の健康を守っていくことが出来るようこれからも勉強し努力していきたいです。

将来の夢

一般歯科医院勤務
M・Kさん



幼い頃私は歯医者さんに行くのが好きでした。いつも優しい先生達、面白い器具もたくさんあり、私は物心ついた頃から将来の夢は歯科医院で働くことでした。国家試験に合格し、夢だった歯科医院に就職し驚いたことの一つに歯医者さんが嫌いな方が多いことでした。すごく怖がりの方や痛がりの方様々いらっしゃいます。最初は硬い表情で口数が少なかった方も次第に口数も増え、「全然痛くなかった。」「気持ちよかった。」「歯医者に来るの楽しみなんです。」と笑顔で言ってもらえたとき、本当にこの職についてよかったと思えたとともに凄くやりがいも感じました。

私が勤める歯科医院では、0歳児から90代の方まで来院されます。幅広い年齢の方々と接する上でコミュニケーションをとることがいかに大切かということを実感しています。忙しい診療の中でも患者様に寄り添えるような歯科衛生士になれるように日々精進していきたいです。

歯科衛生士の重要さ

一般歯科医院勤務
N・Aさん



歯科衛生士になり7年。働き始めは自分にできることを必死にこなしていく毎日でした。その毎日の積み重ねと学生時代に学んだことを復習し、ようやく周りを見て、先を読んで行動できるようになりました。そして自分に余裕も出てきました。

最近、8020運動を気にかけて、1本でも多く歯を残そうと思っている患者さんが増えてきました。

そこでわたしたち歯科衛生士が実際に口の中を見て、患者さんにどのような口腔ケアや保健指導をすべきか考え、サポートしていくことが重要になってきます。うまく伝わらず悔しい思いをすることもあります。さまざまな症例に目を向け日々勉強です。

歯の大切さをしっかり伝え、1人ひとりの歯を守っていけるような歯科衛生士へと成長していきたいです。